



そーわちゃんだより

Vo. 6

2018.8月 発行

発行責任者
宮崎県社会福祉士会
事務局 田淵
電話 0985-86-6111

平成 30 年度もよろしくお願ひします！

平成 30 年 6 月 23 日（土） 出席者 123 名・委任状 174 名（会員総数 529 名の内 56%の参加率）の参加により開催され、事業報告、決算、補正予算等の承認を得ました。ご出席いただきました皆様、委任状をご提出くださいました皆様、ありがとうございました。

総会前には今年度入会された皆様の歓迎を込めて新旧理事と共に会食懇談会を行いました。7 月末日時点で 38 名（内 2 名は他県より異動）の方がご入会下さいました。

その後、宮崎県教育庁人権同和教育課副主幹隈元正敬様より『スクールソーシャルワーカー活用事業について』のお話し、さらに、宮崎県地域生活定着支援センターの事業実施状況について、中武センター長より説明をいただきました。

総会後のショートディスカッションでは、

【社会福祉士の信用失墜行為を防ぐ為に、宮崎県社会福祉士会としてできることは何か？具体的に考えてみよう！】という内容で行いました。

参加者の皆さんから出た意見は下記の通りです。（以下抜粋）

誰が	誰に	～する
担当する会員が	県民に	どういった事業をしているか知ってもらう。
チューター（後見経験者）	初めて後見を受任した人に	マンツーマンフォローする（フォロワーがつく）
社会福祉士会の会員が	一般の人に	社会福祉士の役割を説明できる（会員でない人との違いを・・・）
社会福祉士会が	会員に	意識付けをする。唱和する。標語を作ってみては？
社会福祉士会が	後見受任者を	監視、チェックする機能を作る。

大規模地震時医療活動訓練企画会議避難所部会報告

日時：平成 30 年 8 月 4 日、8:30～15:00

場所：宮崎市立生目台中学校

社会福祉士会ブース来訪者数：51 名

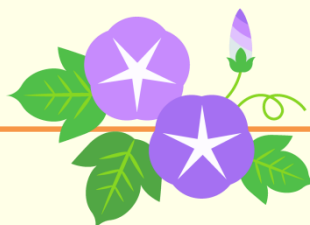
感想

- 多くの方に、災害時の社会福祉士会の取り組みを知ってもらうことができた。
- グッズによる会の PR ができたが、社会福祉士会の赤旗（のぼり）を持っていけば更によかった。
- 災害時に活動する各関係機関との顔の見える関係作りができた。



★新役員(担当部門)をご紹介します★

敬称略



(会長) 川崎 順子 ・(顧問) 黒木 行洋
(監事) 吉田 雅憲・黒木 幹雄
(副会長：事業担当) 渡部 昇三 (副会長：総務・ブロック担当) 松永 茂晃
(理事：基盤強化総務部門) 中武 功見 (理事：ブロック活動部門) 山下 秀幸
(理事：生涯研修部門) 林 典生 (理事：実践部門) 池田 実希
(理事：専門能力向上部門) 下屋 マユミ (理事：権利擁護部門) 田方一哉・合田明美

※各部門には、それぞれに委員会が設置され委員長を中心に精力的に活動して頂いております。
会員の皆様のさらなるご協力をお願い致します。

平成 30 年度福祉専門職 5 団体合同研修が開催されました

『災害支援において福祉専門職に求められる視点と実践』をテーマに7月28日(土)午後よりJ A・A Z Mホール別館にて行われました。定員100名に対して114名の参加があり盛大に開催されました。

基調説明では「災害支援における福祉専門職への期待(求めるもの)」として宮崎県福祉保健部福祉保健課東原擁慈様よりお話しを頂きました。各団体からの実践報告では「各団体の取り組む災害支援」をテーマに5団体の発表が行われ、本会からは黒木有己乃会員(災害支援委員会委員長)が発表されました。情報交換会も行われ、各団体との連携体制の構築に向けてさまざまな意見が出され実りある研修会となりました。



川崎会長の挨拶



黒木有己乃会員の発表風景



情報交換会の様子♪

本研修の開催に先立ち、5月27日に今年度は3団体から5団体に拡大しての意見交換会を開催しました。また、宮崎県福祉保健部福祉保健課外園様にも出会いただきました。その後、専門能力向上委員会を中心となり5団体の皆様と打ち合わせを重ね、合同研修会の準備を進めました。



参加5団体

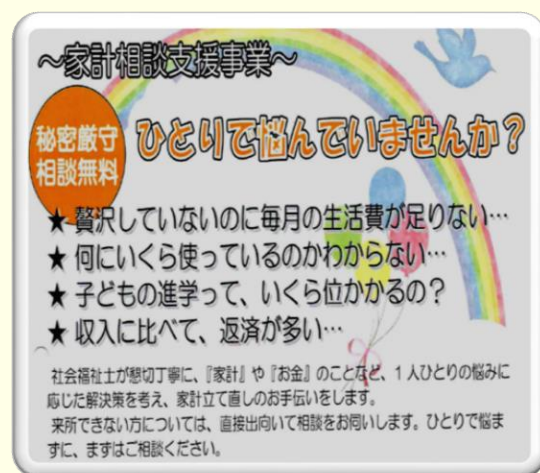
- ・医療ソーシャルワーカー協会
- ・精神保健福祉士会
- ・介護福祉士会
- ・介護支援専門員協会
- ・社会福祉士会



宮崎県委託事業 家計相談支援事業をスタートします

★家計相談支援事業とは・・・相談者が自らの家計の状況に気づき、それを理解したうえで、そこから見える課題を把握する事で家計の再生に向けた具体的な方針を立てて、自ら家計管理が出来るようになる事を支援するものです。

★本事業は、生活困窮者自立支援制度の任意事業として位置づけられている事業です。宮崎県内の町村在住で家計に関する悩みがある方（生活保護受給者は対象外）が対象で、福祉事務所・家計相談支援員(会員)・各地区のサテライト支援員(会員)が連携し、相談者とともに家計計画表等を用いて「家計の見える化」を図り、「家計再生プラン」を作成し支援を行っていきます。



～家計相談支援事業～

秘密厳守 相談無料

ひとりて悩んでいませんか?

- ★ 賢くしていないのに毎月の生活費が足りない…
- ★ 何にいくら使っているのかわからない…
- ★ 子どもの進学って、いくら位かかるの?
- ★ 収入に比べて、返済が多い…

社会福祉士が懇切丁寧に、『家計』や『お金』のことなど、1人ひとりの悩みに応じた解決策を考え、家計立て直しのお手伝いをします。来所できない方については、直接出向いて相談をお伺いします。ひとりて悩まずに、まずはご相談ください。



権利擁護部門からのご報告

★平成 30 年度 成年後見人材育成研修(前半)を開催しました★

7月14日(土)～15日(日)にかけて、成年後見人材育成研修(前半)が開催されました。今回の研修では、県外4名を含む29名の方が受講者として参加されています。後半の11月開催分と合わせ計4日間の日程で、社会福祉士が後見活動を行う上で必要な知識や技術について習得していきます。その上で、12月に開催される「名簿登録研修」を修了されて、「ばあとなあ宮崎」に登録されることとなります。最後まで頑張ってください、共に後見活動ができる日を心待ちにしています。

研修の事前準備や当日の運営に携わっていただいたスタッフの皆さま、ご協力ありがとうございました。

◎後半は、11月3日(土)・4日(日)に行われます。

◎名簿登録研修は、12月8日(土)に行われます。





宮崎県社会福祉士会ホームページがリニューアルします！



今回のリニューアルでは、主に記事参照に時間がかかっていたことの改善や、使いやすいサイトを目指し、構成やデザインを全面的に刷新します。

今後とも、皆さまに満足いただけるサイトを目指して、日々改善に取り組んでまいりますので、引き続き変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます。

被災地活動支援金の募集について

日本社会福祉士会は、被災した圏域の県社会福祉士会の活動等を支援するための募金を開始しています。詳しくはホームページをご覧ください。

【支援金の振込口座】

郵便振込口座 公益社団法人日本社会福祉士会 00150-0-687734

「払込取扱票」通信欄に「平成30年7月豪雨被災地活動支援金」とお書きください。

- 九州・沖縄ブロック研修会沖縄大会は平成30年11月24日(土)～25日(日)に行われます。
- サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者研修受付開始は8月後半ホームページ上でお知らせします。

事務局より
お願い

●住所・氏名・勤務先等の変更がありましたら、所定の様式【HPに掲載】にて事務局まで変更届けをご提出ください。
また、会費の口座変更等も同様です。
あらためて振替用紙を送らせて頂きます。ご協力よろしくお願い致します。

8月～10月の行事・イベント <抜粋>

8月18日(土)	ぱあとなあ定例会	宮崎市総合福祉保健センター
8月25日(土)	第2回理事会・第2回部門会	宮崎市中央公民館 中研修室
9月29日(土)	基礎研修Ⅰ 集合研修	宮崎県福祉総合センター
10月2日・3日	相談支援従事者研修講義部分	
10月 調整中	実習指導者フォローアップ研修	未定
10月27日(土)	社会福祉士統一模擬試験	
10月27日(土)	業務執行役員会(午前)・中間監査	未定

※ ぱあとなあ定例会は毎月1回開催しております。
日程・会場についてはホームページもご覧ください。